

図書館報

第60号

発行 社高等学校
編集 図書委員会

図書館に行こう

教頭 川嶋 輝美

高校生との面談で、スマホは一日に三時間触っているけれど、本や新聞は数か月読んでいないという話を聞き、驚いたことがあります。みなさんは、最近、本や新聞を読んでいますか。図書館に行っていますか。本屋に行っていますか。

本を読むと語彙力・読解力・速読力が向上します。すると、国語や英語だけでなく、文章問題の得点アップにもつながるそうです。

さらに、複数の分野の本を読み、理解を深めると、幸運が訪れるかもしれません。みなさんは「セレンディピティー

【serendipity】という言葉を知っていますか。この言葉の意味は、「求めずして思わぬ発見をする能力。思いがけないものの発見。運よく発見したもの。偶然の発見。」(デジタル大辞泉(小学館)より)です。二つ以上の専門分野があれば、思いがけない発見ができる。学術分野でも、結果を考察する際に、思いがけない発見ができる可能性が高くなるそうです。

私は小学生と高校生の時に読書に励みました。小学生の時は、日本の民話・童話だけでなく、世界の民話・童話も読んでいました。料理の本や食品添加物の本も読んでいました。世界の歴史、日本の歴史などの学習まんがや、手塚治虫さんの『火の鳥』などの

漫画も読んでいました。高校生のときは、星野富弘、湯川秀樹、寺田寅彦、夏目漱石、小林秀雄、松下幸之助、本田宗一郎などの本を読んでいました。科学雑誌や旅行の本も読んでいました。

本を読むことで、新しい知識に触れることができます。楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、苦しいことを体験できます。日本の大企業の創業者が、競争で何もない貧しい現実を変えようと立ち上がり、勉強し、従業員を資産として大切に考える方を持ち、経営をされていることを知りました。日本や世界には様々な人がいること、文化があること、食べ物があっても知りました。自分の世界が広がるような気持ちになりました。

最近の多くの高校生は、読書よりも、スマホで動画やゲームに費やす時間が増えていきます。インターネット上の動画は、根拠が曖昧で時間が短いため、断片的な内容が多く、複数の視点で吟味していく内容は少数です。AIは、考え方が似たものしかお勧めしないので、異なる考え方は放っておいても出て来ません。視聴する人が、意識して違う意見を入力して探さないと、異なる意見に触れることができない環境になっています。偏った考え方にならないようにするには、意識をして、違う意見を探さないといけません。その点では、図書館や本屋とは違うと思います。

まず、図書館に行きましょう。本屋に行きましょう。ぜひ、様々なタイトルの本に触れて、知識の世界の広がりを感じてください。社会に出ると、多くの書類を読みます。読書の習慣があると助かりますよ。気分転換に読書をしてみましょう。

■『科学技術の発達と環境問題』井上尚之著(東京書籍)

ギリシャ以降の科学技術の発達を詳しく解明するとともに、その科学技術の発達に伴ってどのように環境破壊が生じたかを徹底的に究明してあります。

■『ただ一つのものを持って』

星野富弘著(偕成社)
若くして首から下が動かなくなるという大きな試練を背負った星野富弘。しかし彼は、たくさんの人の愛にふれたことで、筆を口にして絵を描き始めます。花の詩画集です。

教員からのメッセージ

本の魅力

数学科 福田 圭

皆さんは本を読みますか。

最近では情報機器の発達により、動画配信アプリなどの SNS を利用して、隙間時間を過ごす人が多いことでしょう。私もそのうちの一人です。しかし、そんな私も、読書にふけていた時期がありました。

私自身、学生時代は小説をよく読んでいました。自分とは違った境遇の登場人物の、様々な感情に触れ、自分の中の感情が豊かになっていく感覚を覚ええました。また、予想を超えるような物語の展開に、胸を躍らせたあの頃を思い出します。ここで、私の印象に残っている小説を二冊紹介します。

■『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

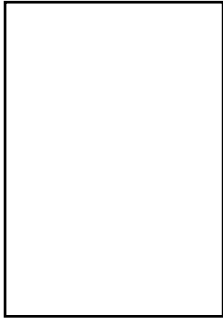
七月隆文著



大学生の男女の恋愛を描いたラブストーリーです。よくある男女の物語かと思えば、最後に大きな秘密が。その秘密を知ったとき、私はもう一度最初から読み直しました。奇跡が繋いだ甘く切ない物語。

胸が締め付けられるような、非日常を味わってみませんか。

■『向日葵の咲かない夏』
道尾秀介著



私の好きな、道尾秀介さんの作品です。世界観や表現力に圧倒されます。ただ、残るのは、やりきれない哀しい気持ち。小説を読み終えたとき、あなたは物語のタイトルである『向日葵の咲かない夏』を、どのように捉えますか。

私の心を動かす本は、小説だけではありません。自身の考え方や行動に、影響を与えてくれる本もあります。本は私たちを成長させてくれます。

■『知的な伝え方』
出口汗著

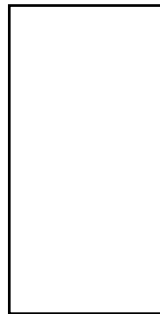


日々のコミュニケーションでも重要な、上手に伝える力を養うことができる一冊です。伝

えるためには、話の内容だけでなく、他にも大事な要素があることに気が付くはずですよ。

■『僕たちのチームのつくりかた』

伊藤羊一著



皆さんの中には、チームのリーダーを担っている人、将来担う人がいると思います。そんな皆さんのタメになる本です。チームメンバーを活かすために、どのようなリーダーの工夫が必要であるか。近い将来、社会で活躍する学生にとっても、学びの多い一冊となることでしょう。

最後に、ある一人の少年の、闘病日記をもとにした本を紹介いたします。

■『いつまでも空のうえから』
福田晋著



会ったこともない私の叔父の闘病記録を、私の祖父が著したものです。幼くして急性白血病を患った少年が残した言葉に触れ、生きることの大変さやすばらしさを、高校生ながらに感じられることでしょう。

本はきっとあなたを成長させてくれます。今日からあなたも本を読みませんか。



内閣府主催
地方創生☆政策
アイデアコンテスト 2024
近畿経済産業局長賞・
全国大会出場
協賛企業賞 受賞
生活科学科 地方創生班
佐々木蒼奈・大江冨映・小上
碧心・服部和月・藤原萌百

「加東市の誇りを、本と心に。」
 私たちが通う社高校は、兵庫県加東市にあり、北播磨地域で唯一、人口が増加しているまちです。社高校には三つの学科があり、私たち生活科学科は食と栄養のスペシャリストを目指して、日々、知識と技術を磨いています。特に、私たち地方創生班は加東市の特産品であるもち麦の普及活動に力を入れていきます。また、バスツアーや P R 活動を通して、市外の方に加東市の魅力を伝える活動を行っています。その結果もあり、ゴルフ場が大半を

占めていた観光地検索が、近年では市内の魅力ある観光地が上位を示すようになり、市外への認知度・魅力度は上昇傾向にあります。
 しかし、あるエピソードから加東市の魅力は、市内には伝わっていないと感じました。それは加東市民である友人の体験談で、友人が部活動後に地元の魅力を話し合っていた時に、自分だけ何も言えず悔しい思いをしていたり、別の友人が市外の人に「加東市って何があるん？」と聞かれた際、魅力を伝えられなかったというものです。加東市が嫌いなわけじゃないのに、魅力を言えない自分がいる。そこで私たちは、加東市内側から見た熱量を調べることになりました。
 加東市総合計画アンケートを分析した結果、加東市への愛着度は小中学生と成人では、33%もの差があり、ふるさと学習を通して地元への愛着が

シビックプライドの醸成を！

住みよきランキング
 〇国が発表した「たなを参列」に決められている。
 〇安心度・利便度・快適度・豊か度
 〇ネットからなる20項目に基づく決められる。
 〇主観的

シビックプライドとは
 「自分の住んでいる地域に対する誇り」
 住居が自分たちの地域や自治体に誇りを持ちそれを支え誇りを持つ。賞賛しようとする姿勢のこと。

愛着度とシビックプライドの違い
 愛着は「住みよき」などにも深く心がけることになり、ため愛着は「住みよき」の前提条件である。地域が「住んでよかった場所」への思いを指すものだと考えられる。
 一方、シビックプライドはそこに住む誇りや愛着は関係してはいないのだからと考えられる。

考察
 住みよきランキングは加東市の気候や公園面積といった要素も考慮されており、加東市の魅力を最大限に表現する指標といえる。
 愛着度は住みよきランキングと異なる。たとえ加東市の住みよきが保たれているとしても住みよきその良さが伝わりづらく、特別な魅力として感じにくくなるのではないかと考えた。

地元の魅力を発掘して誇りに思い誇りを育てる
 地域を愛し賞賛しようとする姿勢を育てる

将来を見据えた
シビックプライドの醸成が必要だ

湧いている子供たちに対して、大人は加東市の魅力に気づいていないことが分かりました。一方、加東市は公的統計を基に都市力を算出した「住みよきランキング」では県内1位となっています。ランキングは1位ですが、愛着度は低い、この乖離の原因を見つめるため、さらに資料を読み解き、考えや疑問をまとめました。そして、加東市役所を訪問し職員の方にアドバイスをいただき、出した考察がこちらです。

住みやすさランキングは客観的な指標ですが、愛着度は主観的なものであり、その良さに慣れると魅力を感じにくくなるのではと考えました。これらの考察から、今の加東市民に必要なのは「地域に対する誇りや住民の一体感」と言われる、シビックプライドの醸成であると結論付けました。シビックプライドの醸成と言っても、なかなかその方法は見出せません。あれこれと考えている中、突然、その日がやってきました。それが、「スタブブックス株式会社」の高橋さんとの出会い、加東市の「人」を軸にした本づくりです。

「ジモトブックス」は、地域の特色を活かした本を企画から制作まで地域の人々が主体となつて作り、全国の書店に届ける仕組みです。加東市で本づくりチームを結成し、私たちもバスツアー内容を基に記事を作成するなど、制作に参加しました。そして、この本を活用して地域活性化やシビックプライドの醸成を目指せいかと考えるようになりました。まず、先進事例を調べまし

ある出版社との出会い

加東市民のシビックプライドを高めたい。
 日々の活動を平行して、その方法を模索している中、私達と興味を共有することになる出版社と出会った...

スタブブックス株式会社
 兵庫県加東市にあるひび出版社。地域に根差した出版活動を行っており、設立以来、地方の魅力と可能性を追求した本づくりをひとつのテーマとしている。

2023年10月
 地元を愛するみんなの本づくりのスタート
 社員校生も主要メンバーの一員として本づくりに参加。

コンセプト
 その地域らしさを「人」を軸に描くローカル・マガジン

私たちが本づくりに参加

だが、図書館や本屋を活用した事例はあったものの、本を主体とした地域活性化事例は見当たりませんでした。同じように、RESAS Portal でも事例は提供されていません。次に、シビックプライドの醸成に関連した先進事例を調べた結果、多くの事例がありました。私たちは先進事例を参考に、市民参加型の活動を通して地元の魅力を発見することがシビックプライドの醸成につながると仮定し、二つの政策アイデアを考えました。

一つ目は、高校の授業教材としてジモトボックスを活用する提案です。小中学校では「かとう学」を通じて加東市の魅力を学ぶ機会がありますが、高校生には少ないため、高校で地元の魅力を学ぶ教材として導入を考えました。さらに、教材として活用するだけで終わらない仕組みも提案します。それが、シビックプライド

醸成サイクルです。教材で学んだ場所やモノをフィールドワークで体感し、その経験を基に本の最後のページを自分で完成させます。このプロセスを通じて本への愛着が深まり、愛着がシビックプライドへとつながります。高校での学びに留まらず、生涯にわたり地元への思いを育むサイクルです。

二つ目は、市内在住者に向けた日帰りバスツアー企画です。私たちはこれまで市外在住者に向けた加東市の魅力を伝えるツアーを実施してきましたが、この経験から、バスツアーはフィールドワークと同等の効果があると考えました。そこで、地元民のための、地元の魅力を知るツアーを計画しました。それが「社高生と行く！地元の魅力知りつくしちやえツアー」です。親子向けのツアーでは新たな魅力の発見を、高齢者向けのツアーでは魅力の再確認を目的としています。

どれくらいの人が参加し、口コミで広がるか？

	高校教材	ツアー 家族	ツアー 若夫婦	郷土版
回数	通年	年 2 回	年 2 回	通年
対象者	加東市在住 1学年70人	1組4人×10組 1回40人 年間80人	1組2人×20組 1回40人 年間80人	1施設2冊 70施設140冊
口コミ	1世帯4人家族と想定 70人が家族に話す 70人×3人 210人に伝わる	参加組の2人 1人に話す 1回10人×2回 20人に伝わる	参加組の1人 1人に話す 1回20人×2回 40人に伝わる	1施設で1人 本に興味を持つ 70人
対象者+口コミ	70人+210人 280人	80人+20人 100人	80人+40人 120人	70人

280人 + 100人 + 120人 + 70人 = **570人** に伝わる

提案 I と同様、シビックプライドの醸成を目指す内容です。三つ目は、市内の公共施設にジモトボックスの概要版を設置する提案です。市役所などの拠点に設置することで、多くの人がジモトボックスに触れる機会を提供します。これはシビックプライド醸成の第一歩であり、将来的には概要版を活用した新たなツアー展開も視野に入れています。左図は、効果予測です。

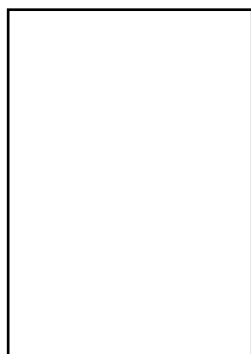
この目標を達成するため、毎年の参加者や満足度を振り返りながら活動を改善してい



提案の参加者と口コミを含めると、1年間で約570人に広がる計算です。この570人は、加東市の人口に対して約1.5%にあたります。毎年、この割合で市民のシビックプライドが醸成されると、25年後には愛着度が子ども・大人世代共に80%を超えると期待しています。

私たちが活動は、次世代へ向けた地域活性化の第一歩です！

誇れるまちへ。本と心をつなぎ、加東市を



図書委員による
おすすめの本紹介

一年三組

釈迦堂裕希・今村琉生

『大村智ものがたり…苦しい道こそ楽しい人生』

馬場 錬成



静岡県伊東市川奈のゴルフ場の近くでとれた土からある微生物が作っていた化学物質が見つかり、それが特効薬となり2億人以上の人々の命を救った。

この本は大村智さんという2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞された人の物語が書かれています。

大村智さんは裕福な農家の

長男として育ち、高校時代は勉強などしないでスキーや卓球に明け暮れていました。大学時代もそれほど勉強に打ち込んでいたわけではありませんでした。都立墨田工業高校の夜間に勤務していた時に生徒たちの昼間は働き、夜は必死に勉強に取り組む姿を見て学び直そうと思います。大学時代に学んだ化学を専門的に勉強したいと考えます。そのために、まずドイツ語を学び外国の文献を読めるようにしました。大村智さんはドイツ語を学んでいた塾の塾長からドイツ語塾の運営を任せたいと頼まれたことがあったそうです。そこまで上達するほど学んでいたのだと驚きました。

いつものようにビニールの小袋の中に土をスプーンですくとり研究室に持ち帰ります。その中にいた微生物が何かい化学物質を作っているかもしれないデータが出てきたので、メ

ルク社に送り研究してもらうことにします。それが「エバークチン」。エバークチンの発表が終わると大村智さんにたくさん質問がされます。その質問の中で最も多かったのは「なぜ一回だけでいいのだというのです。それに対し大村智さんは「効くから一回なのだ」と切り返して会場を沸かせたそうです。

自分を知ることが最も重要で難しい学であることを知りました。自分の人生に役に立つ本だと私は思いました。ぜひ読んでみてください。

鏡の孤城は、辻村深月によって2018年に作られた小説です。この小説は、不思議な城と七人の中学生を中心に描かれるファンタジー作品です。

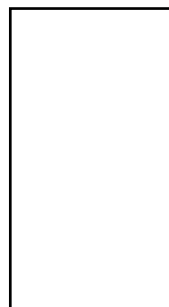


一年四組

藤枝怜央・横山さくら

「かがみの孤城」

辻村 深月



この作品のテーマは、孤独と人間関係、成長となっています。物語の主人公は十四歳の中学生、安西こころ。彼女は学校でのいじめにより、不登校になってしまいます。ある日、こころの部屋の鏡が突然光り、中に吸い込まれます。すると、西洋風のお城と、彼女と同じ何らかの理由で、現実世界で孤立している中学生たちがいました。

城の主である「オオカミ様」から、与えられた条件を満たすことで、一つだけ願いを叶えることができます。そこでこころと仲間たちは鏡の孤城での冒険を通して、最初は互いに壁を作っていましたが、悩みや秘密を共有し、徐々に自分自身と向き合っていきます。各キャラクターは、様々な悩みを抱えて生きており、七人の絆や成長が高まる中で、城の真実や、オオカミ様の意図が明らかになっていきます。後半では、読者を驚かす展開が待っています。実は七人の子どもたちは……。

「鏡の孤城」は、ファンタジーの要素がありながらも、現実世界の厳しさや、現代の子どもたちが直面するかもしれないいじめや不登校、家庭の問題など様々な問題に真剣に立ち向かう姿が描かれています。ぜひ、書店や図書館に立ち寄った際は手に取ってみてください。

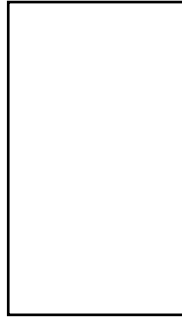
さい。

一年五組

井上博喜・福島さくら

『N』

道尾 秀介



この小説について一言で説明するならば、「小説を読む読者によつて作られる720通りの物語である」ということでしょう。詳しく説明すると、この小説には二つ特徴的なことがあります。一つ目は、読者が章一つ一つの物理的なつながりをなくすため、上下逆さに印刷されている点です。二つ目は、六つの章で構成されており読む順番は読者の自由であるとい

う点です。読む順番の決め方としてはそれぞれの章の冒頭部分だけが書かれており、それを読んで読者が自由にページを移動し物語を読み進めるというものです。

私がこの小説を読んでみて思ったこととしては、前の章ではとても小さなこととして描かれていたことが次に読んだ章でメインとして描かれていたり、その章で分からなかった謎が次に選んだ章や最後に選んだ章で不意に明かされたりと読んでいてとても面白い作品だと私は感じました。

では、6つの章の冒頭部分を軽く紹介させていただきます。一・名前というのは、いったい何だろうか。結婚をして苗字が変わる人はいるけれどファーストネームは一生を通じ変わらない。そして、それは本人の意思がないうちに与えられたものであり、与えた人の思いや願いでもある。名前自体が重

要な意味を持たないし人生に大きな影響を及ぼすものにも名前をもたない。

二・あるマンガでは、野球の才能にあふれた、名前が一字違いの双子が出てくる。そして、物語の途中で弟は死んでしまう。僕も、双子ではないけれど兄弟で野球をやっている。兄と違い野球の才能には大きな差がある。僕は生きているけれど、「死んでくれない？」ある朝、いきなりそんな言葉が暗い、無感情の声で聞こえてきた。

三・十歳の少女が道端で死んだ。うつぶせに転がり、周囲の人が慌てて近づいた時にはもう息がなかったという。少女を殺した犯人を、私は知っている。私だけが知っている。しかし、私はこのまま誰にも話さず死んでいくだろう。四・十八歳で日本を出て以来、約十年ぶりの帰国だった。膝の上には一枚の絵がおいてある。オリアナが私にくれたものだ。

画用紙にはホリーの寝顔が描かれている。この絵を渡された時のオリアナの言葉を私は忘れられるはずがない。ダブリンの海岸で経験した出来事も。自分が生まれて初めて神様を信じたことも。

五・この町で五十年ぶりに殺人事件が起きたという。事件の夜、殺害現場から一匹の犬が忽然と姿を消した。私はそれを必死に探した。どうしても見つけなければいけなかった。刑事としてはなく一人の間として。そうしながら、あらゆることを考えたが、一つだけ考えなかったのは、自分自身についてだった。

六・小学四年生の時、青白い軌道を描くその蝶を、わたしはすかさず追った。追ったのはほんの数秒だったが、わたしは雑草だらけの斜面を転がり落ちていた。落ちた先に割れた一升瓶が捨ててあった。そのかけらが右太ももを傷つけた、私

は怖くて動けなかった。たまたま通りがかった同い年くらいの少年のおかげでわたしは病院に運ばれた。落ちた場所でもた少年に会った。少年にお礼を言いたかったけれど話しかけるのが恥ずかしくて、ただ黙って見下ろしているだけだった。

あなたはこのあらすじを聞いてどの章から読み始め、どの章で読み終えたいと思いましたが、この小説の物語を作るのは、この本を作った著者ではありません。この本を手に取り、表紙をめくったあなたが六つの章から一つ選びそしてその章を深く読む。次の章も同じように選び、同じように読みふければ、あなただけの物語が作られていく、それがこの「N」という小説です。ぜひ、本屋や図書館などでみつけたら手に取ってみてください。

一年六組

山中太陽・山本樹里

『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』

森田 碧



ある日、医者に余命一年と宣告を受けた高校一年生の早坂秋人は、絶望の中一人の女子高生、桜井春奈と出会います。春奈もまた、重い病気で残りわずかの命でした。秋人は、自分の病気のことを隠して彼女と話すようになり、死ぬのが怖くないという春奈に興味を持つようになり、春奈と秋人は、仲良くなつていき、秋人は入院中の春奈に会いに病院に通い始めます。手土産をと思つた秋人は、絵を描くことが大好きな春奈を思つて花

屋さんに行きます。秋人はそこでガーベラの花と出会うことになり、秋人は、ガーベラの花にはたくさんのお言葉があります。皆さんも興味があればガーベラの花言葉調べてみてください。

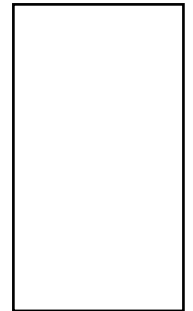
二人は、持病がある中でどんな高校生活を送っていくのでしょうか。また、二人の関係はどうなるのでしょうか。この物語は、時間とともに深まる二人の絆と限りある命に対する彼らの向き合い方を描きながら、命の儚さとその美しさが描かれており改めて命の大切さについて気づくことができます。皆さんもぜひ手に取って読んでみてください。

二年一組

西山和葉・藤原若葉

「疾風ロンド」

東野 圭吾



ある研究所が保管していた

新型病原菌「55-k」が盗み出された。場所を知りたければ三億円を支払えと犯人からのメールが研究所長宛に届く。しかし、犯人が事故死してしまい交渉不可能となつてしまった。秘密裏に作られた生物兵器であるため警察に通報することはできない。残された手がかりは、遺品である受信機と雪山らしき場所で撮影されたビデオだけ。

困難な状況の中、生物兵器の回収という無理難題を上司に押し付けられた研究員とその息子がスキー場へと向かう…。私が紹介したいポイントは、予想外なストーリーが次々と繰り広げられているところだ。犯人からの要求が届き、さ

あどうなるのかと、思う間もなく犯人が事故死したところでは思わず呆気に取られてしまった。

また、登場人物の個性や人間関係がとても面白く、人物の心理や感情の動きがたくさん表現されているところも魅力だ。例えば、こんな上司は嫌だ、の典型であるような上司とそれに振り回される研究員。回収を任せられたがウィンタースポーツにまつた縁の無い研究員とスノーボードが趣味の反抗期真っ盛りのその息子とのいざこざからの協力。読んでいる最中、ふつと笑えてくる箇所もあり、笑いや緊張、さまざまなことを感じながら読むことができる。

この本は雪山・スキー場シリーズに含まれている。それぞれ独立した話となっているが、共通の登場人物がいたりするため、ぜひ他の東野圭吾作品と一緒に手に取ってほしい。

二年二組

上野大志洋・田中大雅

『宙わたる教室』

伊与原 新



東京の新宿にある定時制高校には、負のスパイラルから抜け出せない不良の柳田岳人(21)、授業についていくことを諦めかけたフリーピン人の母と日本人の父を持つ越川アンジェラ(43)、起立性調節障害を抱え、保健室登校を続ける名取佳純(16)、青年時代、高校に通えず働くしかなかった長嶺省造(76)、などさまざまな事情を抱えた生徒が通う。そんな年齢もバックグラウンドもバラバラな生徒の元に、謎めいた理科教師の藤竹が赴任してくる。藤竹の導きにより、生徒

らは教室に「火星のクレータ―」を再現する実験で学会発表を目指すも、自身が抱える障害、家庭内の問題、断ち切れない人間関係などさまざまに困難が立ちはたかる。

この小説は、科学部の創設から発表までの物語です。実験装置の仕組みをイメージするのは難しかったものの、「どんな人間もその気にさえなれば必ず何かを生み出せる」という内容に勇気をもらえます。そして年齢は学びを諦める理由にはならないということも学べます。その後、生徒たちはそれぞれが抱える問題と向き合い成長していきます。岳人はデイスレクシアという学習障害がありながらも先生のサポートのもと、文字を読むことを克服し、科学の楽しさを知ります。そして佳純は、過去のトラウマを乗り越え、自信を取り戻していきます。この本を読んで人間は誰しも困難、苦難に直面す

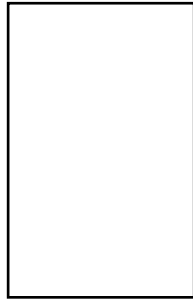
ることがあると思います。そんな時にどうしたら良い方向に進むのか、その壁を乗り越えることができるのかを教えてください。読んできて、とても魅力的なこの「宙わたる教室」。見かけたらぜひ読んでみてください。

二年三組

茅野沙季・寺村心

『100万回生きたね』

佐野 洋子



主人公であるトラ猫は100万回の人生を繰り返し返し生きる中で、100万人の飼い主たちから愛されてきました。です

が、トラ猫は100万回の人生の中で一度も満足をする事ができず再び生まれ変わります。これは、そんなトラ猫が、最後の人生を野良猫として生き、美しい白い猫と出会うから自分以外の存在の大切さを知っていく物語です。

美しい白い猫と出会うまでのトラ猫は、自分のことにしか興味がなく、自分だけが大好きでした。100万回死んだことを誇らしくも思っていました。

しかし、白い猫と出会ってからのトラ猫は、二匹の間に生まれただたくさんの子猫と白い猫のことを自分よりも好きになっていました。ある日、トラ猫の隣で白い猫は静かに動かなくなっていました。そこで初めてトラ猫は涙を流し、それからというものトラ猫が再び生まれ変わることはありませんでした。

この物語を通し私たちは「かけがえのない存在」が生きる支

えとなること、「生きがい」を見つけて人生を送ることの大切さを学ぶことができます。

トラ猫にとつてのかけがえのない存在は美しい白い猫でした。そんな存在を見つけて初めて人生に満足することのできたトラ猫は、白い猫がいなくなっ

てしまった後の世界に再び生きる意味を見出すことができなくなり、生まれ変わりを止めました。

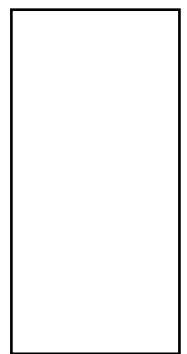
この物語は絵本なので読書に苦手意識のある方でも読みやすい作品になっています。トラ猫のように「生きがい」を見つけないと思う方は是非読んでください。

二年四組

北上丞・渋谷実加

『人間失格』

太宰 治



私が紹介するのは太宰治の『人間失格』です。

この物語は、戦後の日本文学を代表する作品で、自己嫌悪と絶望に満ちた主人公の心の内を書いています。物語は主人公の大庭葉蔵の視点から進行し、彼の人生の失敗や心の葛藤が詳しく書かれています。

葉蔵は自分を「人間失格」と呼び、他人との深い関係を築けず、常に自分の不完全さを感じています。そのため、彼は心から他人と向き合うことができず、虚構の世界に逃げ込むことが多く、精神的な孤独感と不安定さに悩まされます。

物語は葉蔵の自伝的な要素を持ち、彼の過去や出来事や人

間関係が詳しく語られます。

彼は自分自身を理解できず、周囲の人からも理解されない存在として生きていきます。家族や友人、恋人との関係は全て崩壊し、最終的には薬物やアルコールに頼るようになります。これらの行動は葉蔵に深い孤独感や社会からの疎外を象徴しています。

「人間失格」は単なる自伝小説ではなく、人間そのものの存在の根本的な問いを投げかけます。葉蔵の絶え間ない自己否定と自己破壊的な障害は、読者に強い共感と深い悲しみをもたらし、現代でも多くの人々に強い印象を与え続けています。もし時間があれば皆さんも「人間失格」を手にとってみてください。

二年五組

村上穂香・吉田栄昇

『10代にしておきたい17のこと』

本田 健



「10代は、あらゆる可能性に満ちている時代です。あなたには、何にでもなれる可能性があります。言い換えれば、夢のドアがあなたの前にはいくつも用意されているような状態です。ただ、そのドアを開けるかどうかは、あなた次第です。」
作者本田健さんが人生を変えた10代。感情的に混乱して自分が誰だかわからなくなったり10代。人との素晴らしい出会いを求めた17歳。海外に一人でいった19歳。本田健さんが10代の時に体験した生き方、

二年六組

横田芽依・繁田水優

『屋根裏の散歩者』

江戸川 乱歩



「こんな面白くない世の中に生きながらえているよりは、いっそ死んでしまつた方がましだ」
郷田三郎は、どんな遊びをやつても、どんな職についても、何をやつても一向にこの世が面白くない。親から月々の仕送り金を受けることのできる彼は、職につかなくても生きていける。少しでも気を紛らわすために三郎は宿を転々とする生活を送っていた。そんな三郎は次に移つた宿で素人探偵「明智小五郎」と出会う。彼に出会つてからと言うもの、あらゆる犯罪談を聞くことに虜になつてしまい、有名な犯罪小説

から探偵小説まで、この世の味気なさを忘れたかのように読み漁っていた。彼は次第に自分もこのような犯罪じみた行為をやつてみたいと思ふようになる。ただ、犯罪者になるのは三郎も本意ではない。どうやってこの欲を吐き出してくれようかと、様々な悪戯を試しているとき、宿の天井板の一部が外れることに気がつく。屋根裏への好奇心を加速させた三郎は、「屋根裏の散歩」を始めることにした。
屋根裏の散歩に魅了されてしまつた三郎は、日課のように屋根裏へと入っていきます。ある日、天井の隙間から大きく口を開けて寝ている人物を見つけた三郎は、「ここに毒薬を垂らして人殺しをする」という妙計を思いつき、実行しようとしてしまいます。犯罪の虜になつてしまつた三郎は、「ここからどうなつていくのでしょうか。続きが気になる方はぜひ手に取つて読んで

みててください。

二年七組

山城睦人・南晴翔

『スカレードホテル』

東野圭吾



東京都内で三つの殺人事件
が起きた。被害者には繋がり
は無かったが、三件とも殺害現
場に謎の数字が残されていた
ことから連続殺人事件と推測
された。そして、次の犯行場所
が残された暗号から都内の一
流ホテル「ロシア東京」である
ことがわかった。しかし、分かっ
ているのは犯行場所のみで、犯
人はもちろん、ターゲットも不
明。そこで警察は、ロシア東
京に警察官をホテルマンとして
潜入捜査させることを決断す



る。最も重要なフロントクラ
ーに就いたのは若き刑事・新田
浩介だった。そして、彼の教育
係に山岸尚美が選ばれた。こ
の 2 人は、最初は相反する立
場からしばしば対立するが、
やがて認め合い協力し合うよ
うになっていく。

この作品は、東野圭吾さん
が書いたミステリー小説で、映
画化もされている人気作品で
す。映画を見るのも良いです
が、小説にはまた違った魅力が
あり、とても面白いのでぜひ一
度読んでみてください。

■編集後記

今村 萌子

早いものでもう年度末とな
りました。図書館報 60 号を最
後までお読みいただき、ありが
とうございます。今回は教頭
先生を始め、今年度赴任され
た福田圭先生、各クラスの図書
委員からおすすめの本を紹介
していただきました。どれも興
味を引く内容となっています
ので、気になった本を手を取っ
てほしいです。そして今号で一
番の注目は生活科学科の生徒
や先生が携わった書籍「地元
人」の発行に伴う寄稿です。
「その地域らしさを、『人』を軸
に描く」というコンセプトのも
と社高校のある加東市の魅力
を住んでいる加東市民が発信
している本になります。図書室
にも新しく入荷する予定です
ので、ぜひ一度手に取って読ん
でみてください。そして皆さん
も地元の良さを改めて考えて

みててください。

さて、私事になりますが、
子どもの誕生により、絵本を
読む機会が増えました。「しろ
くまちゃんほっとけーき」や
「スイミー」、「ぐりとぐら」な
ど自分自身が幼い頃に読んで
いた絵本を子どもたちと読ん
でいると、懐かしい気持ちにな
ります。絵本の素晴らしいとこ
ろはギャクターや色使い、話
の内容はもちろんです。時
代が変わっても読み継がれてい
る作品が多いので、「お母さん
もこの絵本が好きだったよ」と
言いながら子どもと絵本の面
白さを共有できるところだと
気づきました。物語について語
ったり、美味しそうなホットケ
ーキやカステラの絵を見て、
「美味しそうだね」と言い合っ
たり、絵本を通して親子のコミ
ュケーションの幅が広がってい
ることを実感しています。忙し
い日常の中で、子どもたちと絵
本を読む時間をもっと大切に

していきたくと思っています
ろです。皆さんも本をきつかけ
に家族での会話を広げてみて
はいかがでしょうか。
最後になりましたが、まだ
まだ寒い日が続きますので皆
様どうぞご自愛ください。

